

公立大学法人秋田県立大学 教員募集要項

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 知能化機械システム講座
3. 専門分野 ロボティクス または メカトロニクス または 機械応用分野
本公募では、ロボティクス、メカトロニクス、機械応用分野に関する研究経歴を有し、ロボット工学一般に関する教育と研究、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 機械力学、材料力学、機械設計、システム科学、実習、演習、セミナーなど、その他卒業研究、修士論文指導など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 令和2年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません。）
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書（本学所定の様式1による。*）
(2)研究業績書（本学所定の様式2による。*）研究業績は、①学術論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの5編に○をつけてください。
(3)主要論文5編（コピー可）
(4)これまでの研究、教育及び社会活動（地域貢献を含む。）の概要（1000字程度）
(5)教育に対する抱負（1000字程度）
(6)研究・地域貢献に対する抱負（1000字程度）
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注）*印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、ホームページ（<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>）をご参照下さい。
9. 応募締め切り 令和元年10月31日（木）必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※ 面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
(1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本 真一
※ 封筒の表に「知能メカトロニクス学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。応募書類は返却しません。
(2)問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科長 磯田 陽次
TEL：0184-27-2941（ダイヤルイン） E-mail：isota@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

（女性活躍推進行動計画：<https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/joseikatsuyaku.pdf>）

（子育て支援等行動計画：<https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/kosodate.pdf>）

今回の公募で求める人材像

知能メカトロニクス学科では、学科の教育研究方針に基づいて、今後さらに強化すべき知能化機械システム講座における研究分野の観点を加え、ロボティクスまたはメカトロニクスまたは機械応用分野に研究経歴を有し、ロボット工学一般に関する教育、研究、地域貢献に意欲をもって取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は以下の通りです。

[教育]

メカトロニクスを構成する学問分野である機械工学、電子工学、情報工学の内、機械工学について教育を行うことができる人材を求めます。特に、システム設計や機械設計に関する教育に取り組める人材を求めます。

[研究]

知能化機械システム講座ロボット・メカノシステム研究グループでは、知能化機械システムの研究を強力に推進しています。ロボティクス、メカトロニクス、機械応用分野を専門とし、研究実績を着実に積み重ねることができると共に、専門分野の発展に寄与するための研究活動に意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

秋田県の強みを生かし、今後の人口減少社会に対処していくためには、工業・農林業・エネルギー・輸送機等の産業分野において新事業の創出と、既存の事業を含めて、その拡大・発展に携わる人材の育成が必要です。これらの発展に寄与するロボティクス、メカトロニクス、機械応用分野に関する技術の研究開発や技術者の育成に対する活動に積極的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

知能メカトロニクス学科大講座・グループ構成

機械工学と電子工学に関する専門知識を有し、機械・電子・通信などの分野を融合したメカトロニクスをシステム思考に基づいて設計・開発でき、日本や地域の将来の産業に貢献できる実践的な技術者を育成する。

知能化機械システム講座

●ロボット・メカシステム研究グループ

センサの高齢者介護応用やアクチュエータの研究を行っています。各種力学、制御工学、電子工学などを総合し、人間の生活、環境、産業に寄与するロボット・メカシステムの研究開発に取り組んでいます。

●生体知能研究グループ

人間の内部状態推定に基づく危険運転予測モデルの研究、高度移動型生活支援ロボット、鳥獣被害対策ロボット等、各種の支援システムに関する研究を行っています。

制御システム講座

●制御システム基盤研究グループ

複数の変数を持つ多次元システムの制御、量子制御した電子顕微鏡等の研究をしています。また、研究成果の応用分野についても積極的に研究・開発を進めています。

●応用制御システム研究グループ

無線通信用の増幅器やアンテナ、電磁ノイズの減少方法、線形制御系の設計・解析や知的最適化、知能制御手法を用いたモーションコントロール等の研究をしています。

電気電子システム講座

●知能デバイス研究グループ

環境エレクトロニクス分野に関する材料・プロセス・デバイス・回路の研究、液晶デバイスのディスプレイ以外への応用に関する研究を行っています。また、地域の研究開発を支援するための共同研究も積極的に行っています。

●電気エネルギー変換研究グループ

電気や磁気を応用したテーマに取り組んでいます。例えば、低速大トルクのバーニアモータや大気圧プラズマ生成等の研究を行っています。